

No.	タイトル	評価項目
-----	------	------

理念・安心と安全に基づく運営									
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	事務所の見えやすい場所に貼りに出していて、利用者でも確認できるようにしており、毎月の職員会にて唱和、共有により良いサービスの提供ができるように努めている。	・積極的に実施しており良いと思う。 ・小学校150周年行事やコンセンとの関わりなどよく行っている。 ・小学校、コンセン等世代間交流が出来る。 ・地域とつながりが出来たと思う。			職員会等で理念を唱和することにより理解、共有利用者のできることを大切に自立支援に向けて実践に繋げられるように努めている。	
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりがもたらされたい。認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	隣にある小中学校の学校時にいっしょ運動に出かけたり、地域の文化祭、その他行事には積極的に参加するようになっている。また、開所時からとて指導を頂いて頂いている地域の方との関わりがあり、利用者の方とも交流されている。				今年度は小学校の150周年の行事が行事や交流と頂いた。毎年同じ行事や交流に限らず、その時々での行事、催事に心を配り、積極的な参加がけがしたい。	
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	利用者推移、ヒヤリハット、事故報告等の報告を行い、頂いた意見等は速やかに職員へ周知し、活動に繋げていけるように努めている。	・起きたことに対してきちんと対策をとられている。 ・小さい事柄もきちんと報告しており、丁寧な説明が出来る。			事故報告等の報告事項だけにとまらず、ご意見やその他情報も頂きながらサービス向上に活かしていきたい。来年度からはご家族の参加も職員にも交替で出席できるようにしていきたい。	
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築ように取り組んでいる	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	現状等は運営推進会議等を通して報告し電話や面談等での助言を頂きながら良い関係づくりができるように取り組んでいる。	・市の方から運営推進会議に参加されるなど立場の違う方との意見交換もできている。 ・運営推進会議を通じて連携が図れていると感じる。			継続して運営推進会議や日頃の連絡、またほっとメールページを利用して確認サービス向上に繋げて行きたい。	
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、互間の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	外部研修への参加や施設内研修も行い、身体拘束等の理解を深めている。また、2か月に1回のペースでセンターサマットについても必要性について検討している。		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない		外部研修へは積極的に参加できた。身体拘束、高齢者虐待の研修については外部研修の事前面談や施設内研修も行い積極的に学び、実際のケアの向上に繋げることが出来たと感じる。今後も継続していく。	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	外部研修への参加、施設内研修も行い、理解を深め虐待が起らない環境づくりを徹底する全ての職員同士声を掛け合うように努めている。		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない		高齢者虐待、人権研修に参加し参加できなかった職員も書面回答にて周知した。ただただメールページだけではなく、職員同士の声掛けや意識強化が虐待防止に取り組むべきだ。	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	研修へ参加し学ぶ機会を持っている。利用者の1名が成年後見制度を利用されている。今後も職員が学ぶ機会を持ち、必要時には活用できるように努めている。				日常生活自立支援事業や成年後見制度など学ぶ機会には積極的に参加して行きたい。	
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	契約時にはしっかりと時間を持ち十分な説明ができるように努めている。利用者、家族等からの不安や疑問点にも十分な説明を行うように努めている。				入所者やご家族に分かりやすい説明が出来るように努めている。また、ご家族の不安や疑問などが解消出来るよういっしょに丁寧な説明に心掛けて行く	
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	面談等時に進んで声を掛け、話しやすい関係づくりに努めており、会議の中で職員がご意見、要望を感じた事柄は小さなことでも積極的に話し、周知している。 外部のへつり契約の第三者委員へ報告でき、連絡を迅速に伝えられている。		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない		面談などでご家族からされた事やご意見について、面談に先駆けて職員に伝えていく取り組みは今後も継続して行きたい。それには職員全員が常に意識していく必要がある。職員会等で話し合う機会を取り入れる。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を開く機会を設け、反映させている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	毎月の職員会の中で意見を聴き機会を設けている。他に年2回の面談時に職員の思い等を確認している。職員の意見、提案を速く反映し良い職場づくりを行ってきたい。				職員会の際には発言しやすい雰囲気作りにより努めたり、発言する機会を積極的に作る様に努めている。 また、平常時も管理者から声を掛け意見や提案を速くしやすい機会を作業時間に努めている。	
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	個々の実績や勤務状況等を把握し各自が向上心を持って勤務できるように各自に声掛けを行うように努めている。		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない		職員一人ひとりのライフスタイルに合わせて柔軟に働き方をとらえていく。個人差などを行い、各自が向上心を持ち、やりがいを持って勤務できるように体調面、精神面などサポートしていく。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実践と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながトレーニングしていくことを進めている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	職員の個々の能力に合わせてサポートし、成長できるように研修へ参加したり、施設内研修等も行うようにしている。		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない		なるべく職員全員が外部の希望する研修に参加できるように年間の計画を立てている。また、参加できない場合に施設内研修等を行うが、個人のレベルに合わせて研修への参加や資格取得等への配慮を行っている。	
13	同業者との交流を通じた向上への反映	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	他法人の視察に伺ったり福祉教育活動を通じ関係のある他施設の同業者との関わりを通して情報交換の機会をたりモチベーションアップにつながっている。				今後も他法人等への視察等研修は継続して行い、また、外部への研修等への積極的な参加によりネットワークを広げる努力を管理者に留まらず職員も対象に継続して行い。	
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	他利用者、職員と一緒に日常的な生活を行ったり利用者の生活のことで理解し自立支援を目標に関わりを行っている。				利用者本人のできる事、希望、意向等を常に確認しながら、自立支援に向けて暮らしを共にする者同士の関係づくりに努めている。	
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にできたり馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	これまでの生活感を事前にお話ししたり、ご本人におきながら、馴染みの人、場所との関係が途切れないようにご本人らと話し合うよう支援している。(ドライブ行ってみる。電話で話してもらう等)	・馴染みの方、場所との関係を大切にしている(102歳の高齢の方の一時帰宅等)。 ・友人が来られる一歩もあとと事。 ・外出支援をされている			日々の関わりの中で利用者が本人が大切にできたりことを把握し馴染みの関係などが途切れないように柔軟な支援を考慮して行きたい。	
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント									
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	利用者本人が希望されることとあまりないが、今まで習慣とされていたことなど会話の場々に出てくることをキャッチし意向に繋げられるように努めている。				利用者本人から直接聞き取ることが出来る場合でも思いや意向が把握できるスキルを職員全員が持てるように情報交換や共有に努めている。	
17	チームでつくる介護計画とモニタリング計画	本人がより良く暮らすための課題とケアの方向について、本人、家族、必要関係者を話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	ユニオン会にて、本人がより良く暮らせるようにアイデアを出し合い、ご家族の意向におおききながら介護計画を作成している。必要時にはほかからつづいても意見を求めている。	・個々の暮らしを大切にしていると感じる	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない		月1回のユニット会と3か月に1回のモニタリングを行いご家族の意向なども確認しながら介護計画を作成している。現状が変わった時には、すぐに対応し変更している。	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間や情報共有しあう実践や介護計画の作成に活かしている	A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない	日々の様子や実践、特記事項などを個別に記録に残し職員間でも共有し、実践や計画の見直しに活かしている		A 充分にできている B ほぼできている C あまりできていない D ほとんどできていない		日々の様子や実践、結果や気づき等を個別記録に記入する事、情報の共有をもたない把握、おこなった職員に正確に伝わり合わせる必要がある。	

		本人や家族の状況、その時々によ
--	--	-----------------

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	ニーズに対応して、既存のサービスに採れない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の状況、ニーズに合わせた対応に努めている。(入院などで空室が出た際は待合室の方に声掛けし短期入居を利用している)	空室が空いた際は待合室に声掛けして短期入居(所)へ案内し入居させようとする等の取組みを行っている。	けてショートステイ利用に声掛けをし、他事業所と連携をとり柔軟に対応できるように努めている。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームや出張ケアにしろかちも地域の繋がりを意識して接する。訪問入居のことも、(入院などで空室が出た際は)待合室の方に声掛けし短期入居を利用している。	・こども館との交流も盛んで地域の行事、イベントにも積極的に参加されている。	今後も感染予防に留意し可能な地域資源の活用にも努めることを検討していく。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前にはきちんと説明し本人、家族の希望を聴きながら納得が得られたかかりつけ医を決めていく。入所前からのかかりつけ医に入所後も通院されている方もおられる。		継続して本人、ご家族の希望をお聴きいただき決めていく。かかりつけ医との連携を大切に適切な医療を受けられるように努めている。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院の際には情報提供書を送り連携している。また、入院中も電話や面会などで状態の把握に努め、早期退院に向け病院関係者と関係づくりを行っている。		退院後、元の生活に直結し戻れるように医療との連携を図り、かつケアプランの更新、参加に促すべく引き続き努めている。また、退院後の生活についても相談しながら安心した生活の継続ができるよう努めている。
23	重症化や終末期に向けた方針の共有と支援	重症化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事が入らなくなった、レベルの低下が続く様子はご家族へ向かい確認を行い、かかりつけ医とケアプランの更新を行い今後について十分に話し合っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看取り期に入られる前の段階でご家族がゆっくりと考えられ話し合える時間を設けようとしている。また、ご家族の希望にそった説明がでるようには今後の研修や今後の選抜がさらにと進めようとして学ぶ機会を設けている。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に受け、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	救急法の研修を行い、急変時の対応を職員全員が行えるように学んでいる。8月に演習のケースを、胸骨圧迫により大事に至らなかった。		救急法の継続と緊急時の時に備えた研修への参加等を積極的に取り入れ実践力を身に付けていきたい。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、緊急を問われる利用者が避難できる体制を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	避難訓練以外にもBCPの作成を行い、職員全員で内容共有している。また、近隣の企業等の協力も受け、災害時支援体制の協定を締結した。連絡会を行った。	・近隣企業と災害時の協定を結ぶ他、周辺自治会への協力要請もしている。 ・避難訓練の際に災害時の協定を結ばれた企業の代表者の参加も受けながら対応されている。 ・協定は結んだが、それだけに留まらず職員同士との交流、合同の訓練があるといいと思う。	近隣企業と災害時の協定を結んだが、それで満足せず、合同の訓練などを実施していきたい。防災計画、BCPと連携し研修、訓練を重ね、また次の時に二つに一つかなんかという冷静な行動が出来るように努めている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを傷めない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人格を尊重し、誇りやプライバシーを傷めない対応に勤めているが、完璧ではないと感じる。職員同士が声掛けし合いながら個人を尊重した関わりが出来るよう努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に研修を行い、職員がきちんと理解、把握に努める。研修に参加できなかった職員には個別に研修を行い、全員が学べるように努めている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その目ざすように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員側の都合で一日のペースを考えている一面もあるが、その方の意向などを基本に一緒に考えている。なるべく制度で過ごしたい方、一日何回かは屋外へ散歩へ行きたい方等、確認しながら決めている。		一人ひとりの日常生活における希望、意向等、個別の関りの方向で把握し、情報共有していく様に努めている。
28	食事を楽しむことのための支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事が楽しみな時間になるようにメニューを書いて頂いたり、野菜の下しらえやいなり作り、後片付け等一緒にやっている。希望メニューのお越しを取り入れている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後も、食事が楽しみなものになるよう、季節のものを取り入れたり、一緒に調理、準備、片付けを行ったり、希望のメニューを取り入れるなどを行っていく。
	栄養摂取や水分補給	食べる量や栄養バランス、水分量が一日	A. 充分にできている B. ほぼできている	食べる量について把握し、状態によってはかかりつけ医の指示により栄養補助飲		看護師、かかりつけ医の助言をもとにながら、健康状態、体重等を基

保の支援	態や力、習慣に応じた支援
------	--------------

[illegible]

居心地のよい共用 ☐ A. 充分に活用されている。共用の空間が、利用者にとって不快

空間づくり		や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. あまりできていない B. ほとんどできていない	いって配膳している) に壁面を皆さんと一緒に作成したり、写真なども飾ったりしている。	C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感を大切にし、共有の場で落ち着ける場所づくりに努めていきたい。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らしの方向性に向った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夕方になると家に帰らないと。と思われている方もいらっしゃるが、職員が一緒に過ごす対応すると落ち着かれ「じやあ泊めてもらいますね」と安心されている。		入所者の思いや希望をお聴きしながら寄り添っていく。希望がうまく伝えられない方についても本人の表情、発言、行動から感じ取るようにより努めている。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの習慣や希望をできる限りに生活に取り入れるように支援している。友達が面会に来られる方もあった。		生活歴や暮らしの習慣がご本人の安心した暮らしの手立てになる事を理解し、積極的な情報収集でケアに活かせるよう努めている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニット会の中で各個人についてそれぞれ検討を行いその方に合った計画を立てて、実行、評価を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人情報に日々の状況や体調などを的確に記録し情報の共有に努めている。記録方法にはばらつきがあるため、研修等を行う必要がある。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日の流れが全員同じではなくその方に応じた時間配分を行う支援している。これまでの習慣をできるだけ継続して頂くよう努めている。		穏やかに健康な生活が送れるように一人ひとりに合った利用者本人のペースを意図し、ユニット会、職員会で検討し適宜変更していく。
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができます	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの物はなるべく家族に持っていることで頂く様に話しており、アルバムや今まで使用していた家具などを持っておられる。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が本が自宅で暮らして過ごせるよう、家族と切り離す事でできるように会話を通してイベント等を実施したり、写真を飾るなど自分の部屋らしくする様努めている。
45	本人が持つ力の活用	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができます	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の会話の中で知り得た情報を職員間で共有し、興味のあるありそうな場面の会話を打ち進めている。文化祭、菊まつり、水泳館、旭川遊覧車へ外出した。 ・定期的な会食から行きたい所にかけなら企業、実用されていくように。 ・積極的に施設外の環境に出かけられ、精神的充実が図られていると感じた。		個別、グループ、全体の活動と別れているわけではなく、その都度希望などにより検討し企画している。人数の関係で行けなかった方にも違う企画をするにたい、対応していく。今後も、催事等の情報収集に努め企画していきたい。
46		本人は、自分ができること、できないこと、わかること、わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができます	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活動作や活動を通して少し支援すればできる事、そしてできた時の達成感を感じながら役割や楽しみに生かせるよう努め、ユニット会等で職員同士共有検討をしている。		入居者本人が自信を持ち活動的な生活を送れるよう、役割等を検討し生活に取り入れる様努めていく。
47	総合	本人は、自分がいきいきと過ごす余暇のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	午前、午後の活動のメニューは皆さんの好きな物や得意なものから考えている。また、ご本人の趣味や興味のありそうなのを取り入れ工夫するように努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりをきちんと把握し、理解し活躍できる場を作る様努めていく。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・希望の小学校や同じ法人のごとも親、また文化祭などの機会に際して関わりをおられ大変喜ばしく思う。 ・畑を通じて地域の方や園児さんと交流されている。 ・地域交流の目的は何か？ 職員の負担は？ ・具体的内容まではわかっていないが、利用者、職員も良かった限りでは良い雰囲気だと思える。 ・地域の住民等と交流が密になり日常生活を送る事が出来る。 ・職員全員が利用者一人ひとりに向き合い施設での日々の生活が安心して暮らせるように心掛けられていると感じる。 ・何が重要か、人にとって真なるのか？ ・何が安心につながるのか？		・地域交流の目的は、同じ世代間の方と交流することで楽しさを感じたり、地域への所属感、貢献感を感じる。また、地域の方に理解を深めて頂きそこで地域で安心して暮らせる環境づくりにつながると考えます。職員の負担については、職員も一緒に参加し、楽しさを感じたり、入居者様の喜ばれた表情がこの仕事のやりがいにつながっている。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくる事ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重に帰りたいという気持ちに立ち向かいながらも、その都度職員が個別の役割を持ちながら支え合っており、安心して暮らすことができるようになってきた。安心して暮らす生活が送れるように今後も努力より良い日々を送って頂きたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までの取り組みや行事に限らず、入居者様と一緒に色々な活動に挑戦し、利用者様が万全に暮らせるよう頑張る中で楽しいある生活のお手伝いができようとするのであります。
50		本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくる事ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援を行うことで入居者本人が自信を持つことが出来たり、やりがい、生きがいにつながれるようなケアを提供していきたい。		